

新潟県立長岡大手高等学校

校歌

西脇順三郎  
三善晃

作曲  
作詞

一 ああこの学園の人々よ歌え

蒼柴野の森は桜咲き

心は清く香るとき

はるか天体の曲に相和し跳る

大手に集う若人たち

この学びの故郷は尊し

二 ああこの学園の人々よ歌え

黄金のみのり野にあふれ

真理の極み満つるとき

すべて在るものは歴史ひらめくことか

名利を捨てて豊饒なり

三 ああこの学園の人々よ歌え

悠久の山うらかに

信濃の川に映るとき

遠く海潮の音にみかたむける

沖田の人は賢明なり

この学びの故郷は尊し

(昭和五十一年十二月十七日制定)

長岡大手高等学校 旧校歌

相馬御風 作曲  
中山晋平 作詞

一朝の光に咲き匂ふ  
悠久山の春の花  
夏にも冬にも色かへぬ  
蒼柴の森の姫松の  
やさしく強き心もて  
希望の方へいざ伸びん

二 賤が伏屋も高樓も  
包みて清き白雪の  
飾らず汚れぬ誠もて  
澄みわたる久方の  
天つみ空とさはやかに  
清くゆたけく生きゆかん

三 よき師よき友よき教へ  
わがまなびやは朗らけき  
光に満ちたる愛の園  
いぎやはらはら朝夕に  
共に手をとり学びつ  
正しき道に進まなん

(昭和三年十月十七日制定)

長岡高等女学校 校歌

中村 秋香 作詞  
小山 作之助 作曲

一 吾がこの校にも学ぶ身は  
勤儉質素の校風のもと  
すべての学科をつとめつつ  
深く修めん 女子の徳

二 独立自営世に立たむ日は  
良妻賢母の事実を挙げて  
貴き誉れを長岡の  
長く残さん 世にひろく

(明治三十六年九月三十日制定)

創立記念の歌

中村 秋香  
作詞  
小山 作之助  
作曲

一 明治の三十六年五月

月立つ初の一日をもて

吾儕の為におかれたる

この長岡の学校は

新築愛たく成整ひて

いと賑はしく開かれにたり

二 窓より望めば南は田圃

西には西山北には弥彦

東は遠く千町田を

隔てゝ向ふ東山

此方に見ゆるは悠久山よ

あな世に勝れし野山の景や

三 風景のみかは吾が此の窓は

校風規律もまた世に優れ

悠久山の末長く

悠彦の山の高き名を

弥彦の上より四方に取りて

事実にこそ仰がるべけれ

(明治三十七年五月一日制定)

第一 応援歌

川原 若林 喜三郎  
勝久 作詞  
作曲

一 鳴呼逝く春も来る秋も  
燦爛の夢よそにして  
熱涙とも鍛へてし  
力示さん時ぞ今  
いざ君起てよ聖戦の  
鐘鳴りひびく君起てよ

二 紺碧深き蒼穹に  
相撃つ征箭は高鳴りぬ  
古志の国原討ち薙ぎて  
覇者とし立たん人や誰  
いざ君起てよ聖戦の  
鐘鳴りひびく君起てよ

三 柏葉城下陽は落ちて  
大河の流れゆるむ時  
銀漢映ゆる校庭に  
我は仰がんで優勝旗  
いざ君起てよ聖戦の  
鐘鳴りひびく君起てよ

(昭和十三年制定)

第二応援歌

鈴木宇良子（高全1110回生）作曲  
斉藤フサ子（高全1110回生）作詞

一 鋸 敵とゆるぎなく  
われら勝利に胸燃えて

朝・夕べに鍛へこし  
日頃の力今示す  
堂々たりわが選手

二 暑さ寒さもいとひなく  
われら勇者の意気たかし

強く正しき力もて  
輝く誉を勝ち取らん  
整々たりわが選手

三 信濃の大河洋々と  
われら勝者の功を  
称へて映ゆる旗の色  
勝ちて静かに進みゆく  
粛々たりわが選手

（昭和三十三年制定）